



野生動物リハビリ講演会

「ラムサール条約登録への道 大沼」

日時：1月29日(日) 13:30-14:30

会場：札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階 環境研修室

講師：伊藤勇三氏（環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課長）

参加費：無料

野生動物リハビリテーター協会の2012年野生動物リハビリ講演会は環境省の伊藤勇三氏をお迎えし、現在、登録に向け作業を行われている大沼の例を示しながら、ラムサール条約湿地登録についてお話を伺います。

<ラムサール条約とは>

1971年2月2日制定。正式名は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。湿地の保存に関する国際条約。水鳥を食物連鎖の頂点とする湿地の生態系を守る目的で1980年以降、定期的に締約国会議が開催されている。

講師プロフィール

伊藤 勇三 (いとう ゆうぞう)

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課長 (獣医師)

1957年東京・品川生まれ。野生動物の救護を目指して獣医学科入学。微生物学を専攻。1981年国立環境研究所に就職。大気汚染ガス、重金属の生態影響等を研究。

1993年環境省自然環境局野生生物課へ移動。生物多様性センターで緑の国勢調査を当。日光、山陰海岸、白山、伊勢志摩等々の国立公園管理等の業務を経て2010年より現職。

1994年ガラパゴス諸島の山火事、2001年タンカー座礁事故に政府調査団として現地調査に参加。これまで奥日光、尾瀬、大山上池・下池、化女沼の4カ所のラムサール条約登録の現地調整を担当。現在大沼を自身5カ所目の条約登録を目指し調整中。

お申込・問合せ

野生動物リハビリテーター協会(WRA)

E-mail: info@wra-hokkaido.org

Tel・Fax: 011-377-5383(佐藤):

<http://wra-hokkaido.org/>

